

Systemsoft

株式会社 システムソフト

Business Report 2019

第38期 株主通信

2018年10月1日 ▶ 2019年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ／トップインタビュー	1P
トピックス	4P
事業別の概況	5P
連結財務データ	7P
会社概要	9P
株式情報	10P
株主メモ	裏表紙



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2019年9月30日をもって、第38期を終了いたしましたので、事業の概況等をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2019年12月

代表取締役社長 吉尾 春樹

DepSを中心としたDX(デジ

Q 当期(2019年9月期)の決算について教えてください。

A 当社グループが属する情報サービス産業におきましては、政府が推奨する第4次産業革命が進展する中、AI、IoT、RPA(Robotic Process Automation)、ブロックチェーンといった新たなテクノロジーの活用やシェアリングエコノミーへの取り組み、「デジタルネイティブ企業」へと変革する各企業の取り組みが加速し、そのための技術的な支援やサービスの提供が一層求められております。

このような状況で、当社グループは、デジタルトランスフォーメーションを支援するITサプライヤー企業グループへと成長することを目指し、第38期において、子会社株式会社DigiIT(デジット)の事業開始による新たなグループ体制でのスタートを切り、RPAソリューションやWebコンサルティングといったデジタルトランスフォーメーション(DX、X DIGITAL)領域へと一層注力してまいり

経営理念

当社は、優れたIT技術により、お客様の問題解決に真摯に取り組み、お客様、そして社会に必要な会社として貢献いたします。

IT技術により効率的に情報を収集、整理、発信し、社会を構成するひとりひとりが情報を十分に活用していくことができる環境を実現したいと願っております。

当社の従業員は、常に新しいことに積極的に取り組み、お客様、自己、会社(株主様)、社会への大きな責任を常に自覚し、優れた企業人として振舞う人でありたいと願っております。

タルトランスフォーメーション)に取り組んでまいります。

ました。同社の事業は、立ち上げコストを要し利益率はまだ高くないものの、新規顧客の獲得をはじめRPAソリューションの提供が順調に推移したことにより、売上拡大に大きく寄与いたしました。

また、前期に引き続き、内部の変革として部門別損益管理を徹底し、一層のコスト低減に努めつつ、積極的な人材の採用および良質なエンジニアの確保に取り組み、システム開発分野のサービス価値向上をすすめてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は前期に比して524百万円(21.2%)増加し3,000百万円、営業利益は153百万円(前年同期は営業損失79百万円)となりました。また、経常利益は、株主優待引当金繰入額28百万円を計上したことにより85百万円(前年同期は経常損失155百万円)、親会社株主に帰属する当期純損失は、のれんの減損損失1,637百万円を計上したことにより1,724百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失263百万円)となりました。

Q 来期(2020年9月期)の見通しについてはいかがですか。

A 景気は緩やかな回復基調が期待される一方、企業のIT投資全般におきましては、先進的な企業においては、デジタルトランスフォーメーション領域への投資が引き続き進んでいくものと予測しております。

当社といたしましては、新たなテクノロジーの活用やシェアリングエコノミー等の潮流が生じ各企業が「デジタルネイティブ企業」へと変革する取り組みが進むこれからの環境の変化をビジネスチャンスと捉え、子会社株式会社DigiITの事業活動を通じて、新しいソリューションサービスの開発とサービス提供・販売に注力してまいります。また、当社はシステムソリューション事業における既存分野の拡大と新規顧客の獲得に積極的に取り組んでまいります。

これらにより、次期の業績予想は、売上高3,500百万円、営業利益200百万円、経常利益150百万円、親会社株主に帰属する当期純利益90百万円を見込んでおります。

Q 今後の事業への取り組みについてお聞かせください。

A 当社グループは、大きく2つの領域に引き続き注力してまいります。なお、当社の事業セグメントは、システムソリューション事業、マーケティング事業、その他事業の3つで構成されておりますが、次のX-Digital分野およびシステム開発分野は、セグメント区分にとらわれることなく、横断的に注力していくことを目指している領域です。

*デジタルトランスフォーメーション(DX、X DIGITAL)：企業が、全ての仕事のやり方をIT・デジタル技術で定義し直すことによって、大幅な効率化・社内の変革を推し進め、新しい製品、サービス、ビジネスモデルを提供しつつ競争優位性を得ていくこと。

まず、X-Digital分野として、株式会社DigiITの営業を通じて、RPAソリューションやWebコンサルティングといったデジタルトランスフォーメーション領域のほか、主要顧客と提携し、そのシェアリングエコノミー事業・プラットフォーム事業とのシナジーを活かした新たなサービスの提供を引き続き加速させてまいります。

次に、システム開発分野において、様々な開発形態がある中、特に常駐型(SES:お客様先に常駐して業務を請け負うシステムエンジニアリングサービス)の案件の獲得に努め、受託型(ソリューション)と同等の規模まで拡大してまいります。

また、同事業として、受託型の開発案件についても、Webソリューション技術、画像通信・音声認識技術等、特色ある技術を中核に長期間安定してソリューションを提供し続けてきたお客様とのお取引をベースに、引き続き維持向上してまいります。

Q 株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

A 当社は、企業価値の継続的向上を図るとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置付けております。

株主の皆様に対する利益配分につきましては、株主重視の基本政策に基づき、将来にわたる安定配当の維持と企業体質の強化ならびに今後の事業展開に必要な内部留保の確保等を念頭に、利益水準、財政状態および配当性向等を総合的に考慮した上で実施していく方針であります。



本方針に基づき、当期の期末配当は1株当たり2円といたしました。

当社グループは子会社を交えた企業活動を通じて、未来のIT企業に求められる企業価値創造や風土の醸成を行い、将来にわたりマーケットから求められる存在力を有する、魅力ある企業グループとなることを目指します。

株主の皆様にはこれまで以上のご理解とご支援を賜りますよう、今後とも宜しく願い申し上げます。

グループ会社紹介:株式会社DigiIT

営業開始から1年が経過、 システムソフトとの連携を強化し 飛躍の年を目指します!

株式会社DigiITは、株式会社システムソフトの完全子会社です。お客様に、DX(デジタルトランスフォーメーション)を提供すべく設立された会社です。

DigiITの強みの1つとしてRPA(Robotic Process Automation)があげられます。RPAとは、認知技術(ルールエンジン・機械学習・人工知能等)を活用した、主にホワイトカラー業務の効率化・自動化の取り組みです。人間の補完として業務を遂行できることから、仮想的労働者(デジタルレイバー)とも言われています。

銀行・金融業、物流業、製造業、服飾業、EC業界等、様々な業界・企業からのご要望を受けて、RPAソリューションのご提供を進めております。

また、長年システム開発を担ってきた技術を活かし、RPAエンジニアを企業様に派遣しRPAソリューションの導入をご支援する『デジタルレイバー派遣』サービスもご提供しております。

※『デジタルレイバー派遣』は株式会社システムソフトの登録商標です。

事業戦略

① DepSのブランド化

DigiIT efficiency and productivity Service ※efficiency and productivity=効率性と生産性

AI、RPA、クラウドサービスなどを活用し、生産性の改善、人的ミスの撲滅、労働時間の是正、属人化の排除、人手不足の解消など仕事の効率性と生産性をサポートするDigiITのサービスブランドの総称です。

② デジタルトランスフォーメーションサービス(DXサービス)の加速

デジタルデバイスやデジタルテクノロジーを活用し、ワークスタイルやオペレーションなどの変革を支える自社サービスの開発や、お客様のイノベーションに向けた企画から開発・サービスのサポートまでをワンストップでサポートします。

DigiIT

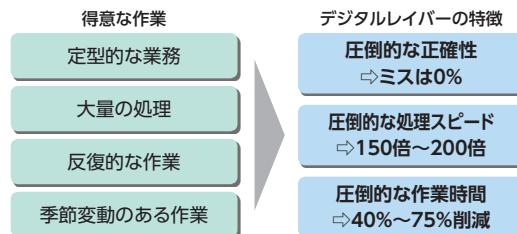
会社概要

本店所在地	東京都千代田区大手町二丁目6番1号
オフィス	東京都渋谷区道玄坂一丁目19番12号
営業開始日	2018年11月
資本金	10百万円
代表者	代表取締役社長 久井康史
事業内容	RPAソリューション、Webコンサルティング

URL <https://www.digiit.co.jp/>

デジタルレイバーは、
最強のチームメート

優秀なロボットを採用!!



人間はより創造性の高い作業に集中

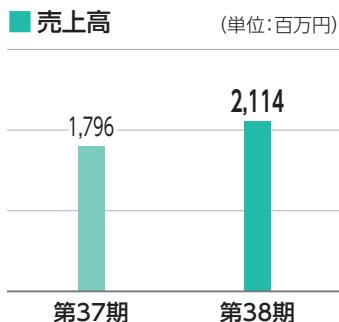
DepS
DigiIT efficiency and productivity Service

事業別の概況

システムソリューション事業

売上高 2,114百万円

セグメント利益 100百万円



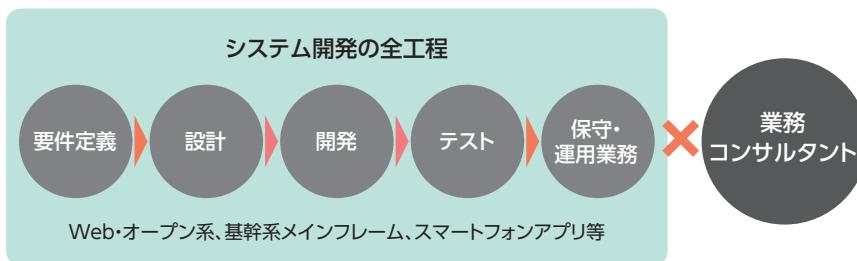
当期の業績について

当連結会計年度におきましては、不動産分野、生損保分野において案件の受注が順調に進み、売上・利益面が大幅に向上いたしました。また、大型案件を計画通り受注したことにより、システムソリューション事業全体の利益率が改善いたしました。

これらにより、システムソリューション事業の売上高は前連結会計年度に比して317百万円(17.7%)増加し2,114百万円、セグメント利益は100百万円(前年同期はセグメント損失31百万円)となりました。

事業内容

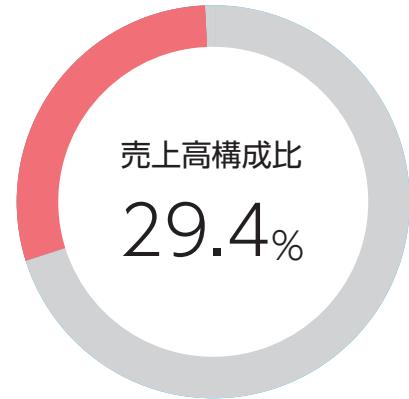
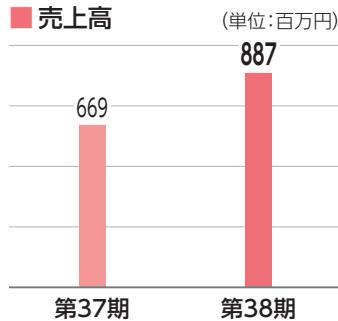
Web技術をベースとするシステム開発に強みを持ち、不動産分野、情報通信分野、生損保分野、教育分野等のお客様に対して長年にわたってシステム開発およびソリューションサービスを提供することに加え、賃貸不動産情報サイトの運営を行っております。



マーケティング事業

売上高 **887**百万円

セグメント利益 **195**百万円



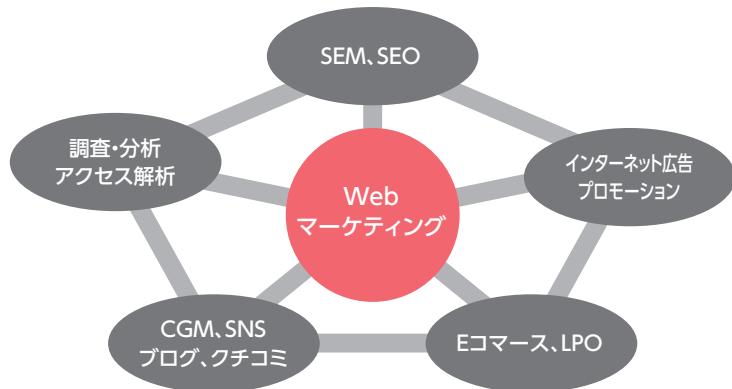
当期の業績について

当連結会計年度におきましては、金融分野を中心にRPAソリューションの提供が順調に進んだほか、大型のコンサルティング案件の獲得により、大幅に利益率が改善いたしました。

これらにより、マーケティング事業の売上高は前連結会計年度に比して218百万円(32.7%)増加し887百万円、セグメント利益は前連結会計年度に比して165百万円(551.0%)増加し195百万円となりました。

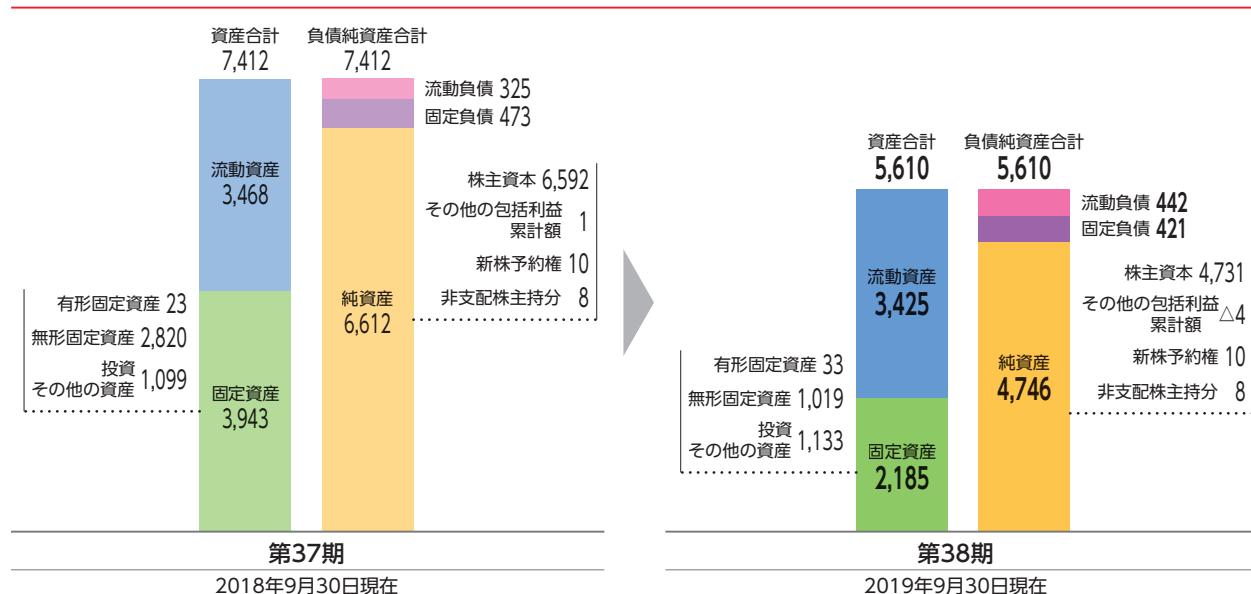
事業内容

RPAソリューションのほか、企業におけるシステム運用に関するコンサルティング、Webマーケティングにおけるコンサルティングを中心に、そこから派生するシステム開発を含むソリューションサービスの提供を行っております。



連結財務データ

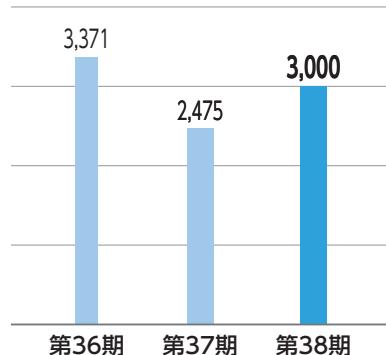
資産の状況 (単位:百万円)



財務ハイライト

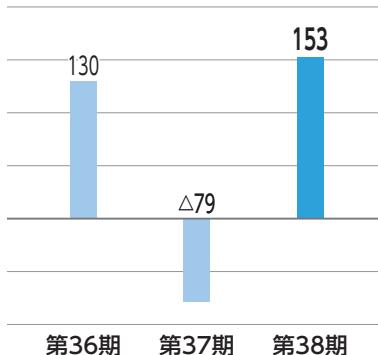
売上高

(単位:百万円)



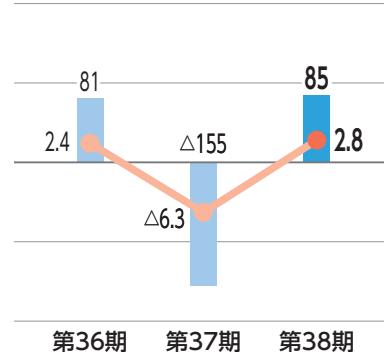
営業利益

(単位:百万円)

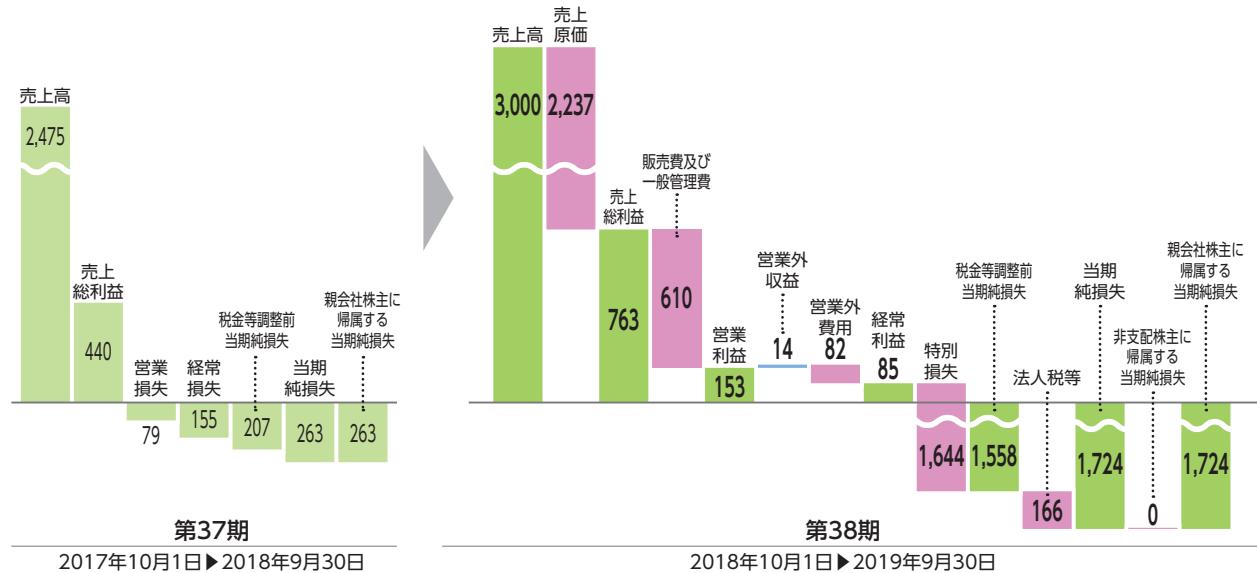


経常利益/経常利益率

(単位:百万円/%)

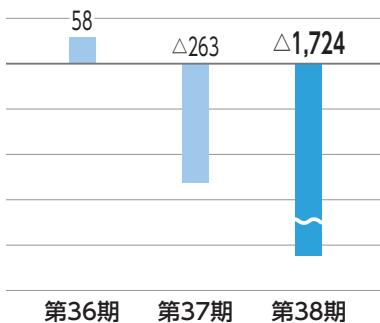


損益の状況 (単位:百万円)



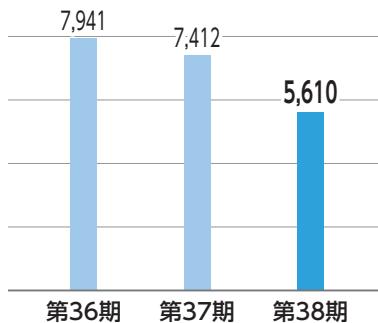
■ 親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失

(単位:百万円)



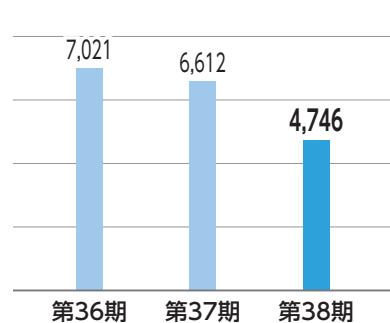
■ 総資産

(単位:百万円)



■ 純資産

(単位:百万円)



(注) 第37期より連結財務諸表を作成しているため、第36期の数値については単体となっております。

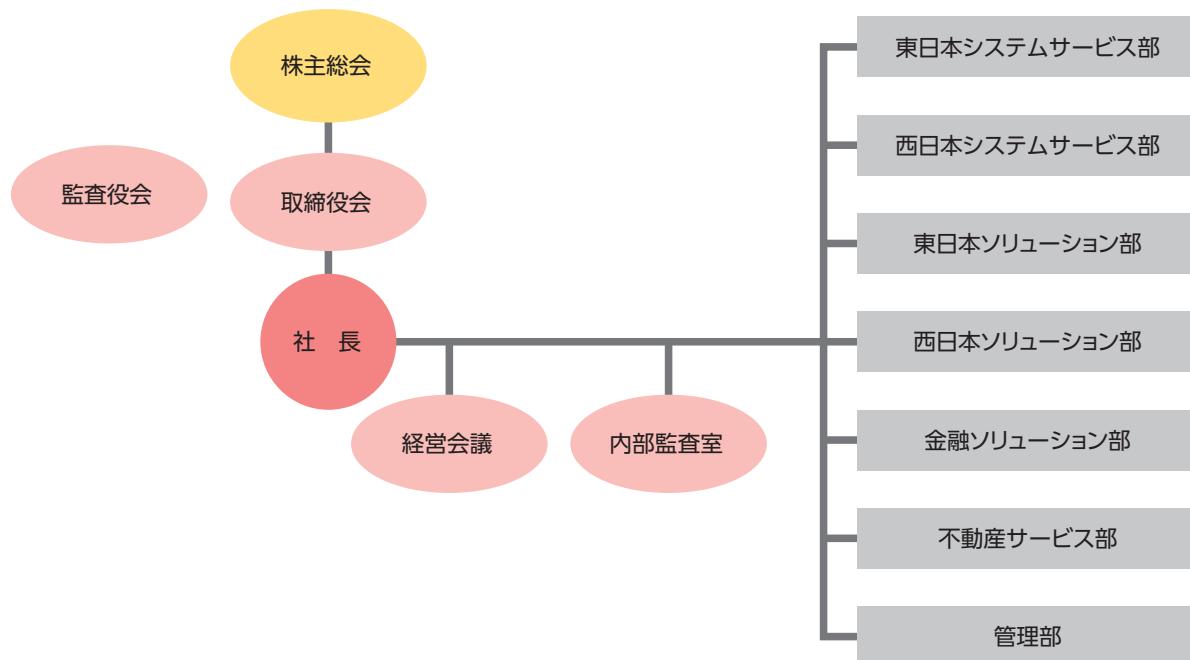
会社の概要

商号	株式会社システムソフト
設立	1979年9月
代表者の氏名	吉尾 春樹
決算期	9月30日
従業員数	126名(連結・2019年9月30日現在)
主要な事業所	東京本社(東京都千代田区) 福岡本社(福岡市中央区)

役員 (2019年12月13日現在)

代表取締役社長 吉尾 春樹	
取締役 石川 雅浩	常勤監査役 平山 美智子 (社外)
取締役 大村 浩次	監査役 六川 浩明 (社外)
取締役 高橋 裕次郎 (社外)	監査役 島田 敏雄 (社外)
取締役 浅子 正明 (社外)	

組織図 (2019年12月13日現在)



株式の状況

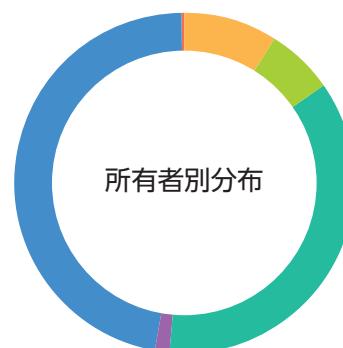
発行可能株式総数	90,000,000株
発行済株式総数	67,974,560株
株主数	9,559名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
Apaman Network 株式会社	23,854,700	35.10
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	2,128,900	3.13
丸山三千夫	2,090,000	3.07
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,186,200	1.74
楽天証券株式会社	1,160,800	1.70
丸山光子	930,000	1.36
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口5)	921,000	1.35
SMBC日興証券株式会社	908,600	1.33
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口1)	556,400	0.81
クレディ・スイス証券株式会社	555,200	0.81

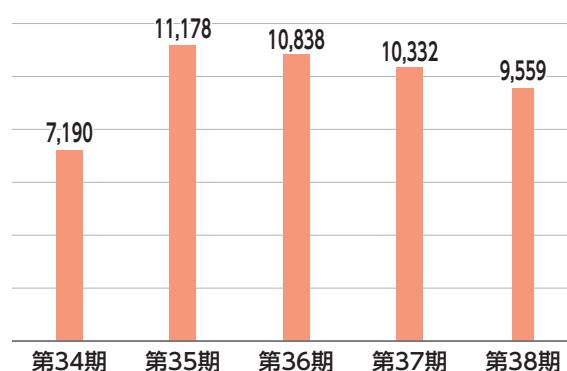
(注) 持株比率は自己株式(31,719株)を控除し、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

株式分布状況



金融機関	6,212,300株 (9.14%)
証券会社	4,259,020株 (6.27%)
その他の法人	24,533,570株 (36.09%)
外国法人等	968,184株 (1.42%)
個人・その他	31,969,767株 (47.03%)
自己名義	31,719株 (0.05%)

株主数の推移 (単位:名)



株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	定時株主総会 毎年9月30日 期末配当金 毎年9月30日 中間配当金 毎年3月31日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【郵便物送付先】 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 【電話照会先】 ☎ 0120-782-031 【インターネットホームページURL】 https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 https://www.systemsoft.co.jp/ir/index.shtml やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部（証券コード7527）
単元株式数	100株

STOCK INFORMATION

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社に口座を開設されている株主様は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記の電話照会先にご連絡ください。

未払配当金の支払について

お受け取りがお済みでない配当金等に関するお手続きにつきましては、左記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といえます。）を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトのIR情報のページに決算情報など最新の情報を配信しております。ぜひご利用ください。

<https://www.systemsoft.co.jp>

システムソフト

検索

Systemsoft

株式会社 システムソフト

東京本社

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番1号

福岡本社

〒810-8665 福岡市中央区天神一丁目12番1号
電話 092-732-1515(代表)